

トスカーナ便り : Il sistema italiano (イタリアンウェイ)

日本を離れて暮らしてみると、日本で「常識」と思っていたことも、現地では全然通用しない事が多々あります。それは歴史だったり考え方の違いだったり色々な理由があって、そうなっているわけで、ちょっと表面をかじっただけで「やっぱり日本が最高」とか言うつもりは全くありません。もちろん日本人の勤勉さとか、サービスの品質とか、技術力とか利便性とか、改めて「すごい」と思うことは沢山ありますよ。初めての海外生活となったドイツでの暮らしは、もちろん沢山カルチャーショックがあったものの、どこか日本とも通じる整然さがあって、大きな問題はなく、なじめたのですが、ここイタリア。驚きの毎日です。◎今回は少しばかり「イタリアンウェイ」をご紹介します。と思います。

◆時間の感覚の違い

日本にいと、電車は時間通りに来るし、3-5分遅れても「遅れて申し訳ない」的なアナウンスが入ります。人との待ち合わせや訪問時間、会社の始業時間には「5分前行動」って教えられますよね？

「ちょっと待って」と言われたら、待ち時間は最大10分。「5分待って」と言われたら5分以内に戻ってきますよね？日本人はドイツ人は時間に正確だと思っていますが、実際は日本人ほど厳密ではなくて、電車だって10分程度の遅れは日常茶飯事です。(ちなみに、ヨーロッパで唯一、ドイツ人以上に時間に正確なのは「スイス人」だと言われています。)

で、これがイタリアだったら？

1. 電車やバス：定時や10分くらいまでの遅れ→「奇跡」、15-30分くらいの遅れ→「普通」、30分以上の遅れ→「ちょっと遅い」、1時間以上→やっとな「遅れて申し訳ない」。
2. 待ち合わせ時間：例えば夜8時にレストランで待ち合わせ。8時→誰もいない、8時10分→ぼちぼち到着、8時20分→だいたいみんな揃う、8時30分→ちょっと遅くなってごめん。
3. 待ち時間：ちょっと→30分くらい。の感じです。
4. 待つことと待たせる事：銀行とかお店とか役所とか、どこに行っても待つのは当たり前前で、待つことには寛容な様子。「待っている人が多いから急がない」と的な気遣いは誰もしないので、マイペース。待たせる事も何も問題なし！

◆仕事

会社の勤務時間は8時間と数字だけ見ると日本と同じようですが、朝の定時に「カフエ（コーヒー＝もちろんエスプレッソ）のために」10分くらい遅れる事は何も問題なし。仕事の合間に休憩をはさみ、ゆっくりお昼休みを取って（家に帰って昼食取る人も多いそうです）、定時よりなるべく前に帰るのがイタリア流だそうです。実際どのくらいの時間働いているのか謎ですが、8時に入社して、10時までしゃべったりコーヒー飲んだりしたあと、ようやく10-12時まで働いて、12-15時までお昼休み。15-17時まで働いて退社（要は働いているのは4時間！）。という説もあるくらい。もちろん残業はしないです。法的に週40時間以上の労働は認められておらず、違反すると雇用主は告訴されて、莫大な賠償金支払いになるそう。

「仕事をするために生きている」のではなく、「楽しく生きるために仕事をする」というのがイタリア式仕事の捉え方。ああ日本とは根本から違う！

ちなみに、イタリアでは「週末」＝金曜日の午後から月曜日の午前中までを指します。いいなあ。

休暇は夏に2週間、春のイースターの頃に1週間、クリスマス、年末年始あたりで1週間、合計1か月、というのが一般的みたいです。有給の消化率も当然のように100%に近いと思います。

1週間の休暇を取ってどこかに遊びに行き、帰って来てから「休暇で疲れた」からといってさらに1週間休暇を取るのも珍しくないそう。もう「今までの仕事はなんやったんや〜！！」と暴れたくなるくらい根本から違うんです…。

◆その他、街で見つけたびっくり。



1. 駐車

多分イタリア中どこもそうだと思いますが、旧市街では駐車場所を見つけるのが大変。そもそも道が狭いし、一方通行も多いし、無料で駐車できる場所が限られています。（もちろん有料の駐車場もありますが大半のイタリア人はよほどのことがない限り、駐車場にお金払ったりしないです。）多分取り締まりが厳しいからなのか、罰金がすごく高いからなのか、ルールは都合の良いように適当に破るのが当たり前のイタリア人も「駐車禁止」の標識はちゃんと守ります。でも時々、驚くような場所に車が停めてあって、それが原因で渋滞しています。

駐車場だってこのとおり！でもなんでこの場所になったのか聞いてみたいです。

2. 踏切

歴史の長い街になると、大抵は鉄道の駅は街の中心から外れた場所にあります。

まあそれはさておき、イタリアの踏切。一度遮断機が下りると、再び上がるまでがえらく長いです。前の駅を出たところで、遮断機が下りて、次の駅に着くころに上がるんちゃうか？と思う位長いです（多分10分くらい）。で、どんな長い列車か貨物列車が通るのかと思うと、たった2両編成の電車が通って行ったりします。☺

もちろんお蔭で道路は列車が通るたびに大渋滞です。変なの。



ビックリするようなことはまだまだ他にもありますが、今回はこのへんで。



定点観測地、Piazza dell'Anfiteatro（アンフィテアトロ広場）にも Albero di natale（アルベロ・ディ・ナターレ：クリスマスツリー）が登場して、ちょっとクリスマスな雰囲気になりました。